

**本日のプログラム**

1. 開会挨拶と協働実践研究会の紹介(池田玲子)
2. 協働学習としてのケース学習から見えてくる外国人労働者の抱える問題(近藤彩)
3. 地域・大学・企業の協働による外国人労働者のための研修企画(金孝卿)

休憩

4. 境港の実態(事例)  
ゲストスピーカー: 本角さま、森岡さま、大原さま
5. 全体討論
6. 閉会の挨拶(館岡洋子)

参加者: 45名(日本語教育・企業・公的機関 他)

この研究会のことは地方紙「日本海新聞」に掲載されました。

(第3種郵便物認可)



外国人社員とのビジネスコミュニケーションのためのケース学習を体験する参加者

## 研究者と市民が情報共有

### 境港で協働実践研究会

外国人労働者の受け入れが進む中、「外国人と日本人の協働的コミュニケーションによる多文化共生の環境づくりのために」をテーマにした協働実践研究会が、境港市のSANKO夢みなとタワーで開かれた。全国の日本語教育研究者と地元企業・行政関係者ら約50人が参加し、情報共有を図った。業の担当者3人がパネリストで参加。市では日本語教室を立ち上げた学術団体「協働実践研究会」(本部・東京、会員約310人)が、松江市で開催された「日本語教育学会」に合わせ、11月22日に初めて地方開催した。

代表の池田玲子鳥取大教授ら3名が出席し、意見交換した。

(久保田恭子)

パネリストは、約300人の外国人技能実習生が働く境港市の行政・管理団体・企業に所属する3人。加えて、市では日本語教室を立ち上げた学術団体「協働実践研究会」(本部・東京、会員約310人)が、松江市で開催された「日本語教育学会」に合わせ、11月22日に初めて地方開催した。

# 多文化共生環境づくりへ

## 中海圏域版

情報はコチラへ



西館本社  
0859-34-8815  
境港支社  
0859-44-6330  
日野支店  
0859-77-0001  
松江支社  
0852-25-3385  
安来支店  
0854-23-1825

第15回の協働実践研究会は鳥取県境港市の「港みらいタワー」の研修室で開催されました。

『グローバル社会の中で新たな関係づくりのために—事業者と日本語教育の協働による職場環境づくりの可能性—』のテーマの元、多文化共生の職場環境のためのビジネス日本語教育について知っていただき、今後の職場環境改善について一緒に考えました。

前半では、まずグローバル社会の職場がどうあるべきかの理論を紹介し、その後、ビジネス日本語教育のために開発された「ケース学習」の解説がありました。次にこの「ケース学習」によるビジネス日本語教育の実践事例の紹介がありました。

後半は、開催地「境港」で外国人労働者にそれぞれ違った立場からかかわっている方々と日本語教育実践研究者によるパネルディスカッションを行いました。

文責: 池田玲子